

October 21, 2020

**【前日の為替概況】ユーロドル、リスクオンで1.1841ドルまで続伸、ユーロ円も125.00円まで上昇**

20日のニューヨーク外国為替市場でユーロドルは3日続伸。終値は1.1822ドルと前営業日NY終値(1.1769ドル)と比べて0.0053ドル程度のユーロ高水準だった。ユーロ全面高となった欧州市場の流れを引き継いでユーロ買い・ドル売りが先行。米追加経済対策や新型コロナウイルスワクチン開発への期待から米国株相場が堅調に推移すると、リスク・オンのドル売りが加速した。24時前に一時1.1841ドルと9月21日以来約1カ月ぶりの高値を付けた。

ただ、一目均衡表雲の上限1.1848ドルがレジスタンスとして意識されるとやや伸び悩んだ。一時は370ドル超上昇したダウ平均が引けにかけて上げ幅を縮めたこともドル売りの勢いを後退させた。

米バイオ製薬モデルナの経営トップは「ワクチンの臨床試験で良好な結果が得られれば米政府は12月に緊急使用を認める可能性がある」と述べたほか、「英製薬大手アストラゼネカはワクチン治験を再開する可能性」との報道が伝わった。また、ペロシ米下院議長(民主党)はムニューシン米財務長官との会談前に「米追加経済対策巡り、まだ合意していないものの楽観している。経済には必要」と語った。

ペロシ氏とムニューシン氏の協議は取引終了間際に終了した。メドウズ米大統領首席補佐官は「協議で順調な前進があった」「明日午後に再度協議する」「全員が週末まで合意のため努力する」と述べた一方、「ペロシ氏は2.2-2.4兆ドル規模の提案を維持」「最大のハードルはペロシ氏」との見解を示した。

ドル円は小幅続伸。終値は105.50円と前営業日NY終値(105.43円)と比べて7銭程度のドル高水準だった。21時30分過ぎに一時105.75円と日通し高値を付けたものの、12日の高値105.85円手前で失速。米国株高に伴うリスク選好のドル売りが強まると一時105.42円付近まで下押しした。主要通貨に対するドルの値動きを示すドルインデックスは一時93.00と9月21日以来約1カ月ぶりの低水準を付けた。

9月米住宅着工件数は141.5万件と予想を下回った一方、同建設許可件数は155.3万件と予想を上回るなど強弱入り混じる結果となったため、相場の反応は限定的だった。

ユーロ円は3日続伸。終値は124.72円と前営業日NY終値(124.10円)と比べて62銭程度のユーロ高水準。23時30分過ぎに一時125.00円と12日以来の高値を付けたものの、買い一巡後はやや伸び悩んだ。

**【本日の東京為替見通し】ドル円、米追加経済対策を巡る協議に要注目か**

本日の東京外国為替市場のドル円は、明日22日に開催予定の第2回米大統領候補討論会に向けて動きづらい展開の中、本日も協議継続と報じられている米国の追加景気対策法案を巡る協議からのヘッドラインに注目する展開となる。

ドル円は、追加景気対策法案が妥結され、上下両院の承認を経て11月3日の米大統領選挙前に成立する可能性が高まりつつあること、新型コロナウイルスのワクチン開発に前向きな報道が伝えられていることで、ニューヨーク株高・米金利上昇のリスクオン地合いで底堅い展開となっている。

ドル円のオーダー状況は、本日のNYカットオプション105.50円を軸にして、上値には、テクニカルポイントである一目均衡表・転換線(過去9日間の高値・安値の中心値)105.54円の上の105.70円と105.80円にドル売りオーダー、超えるとストップロス買いが控えている。下値には、一目均衡表・基準線(過去26日間の高値・安値の中心値)105.06円付近の105.30円にドル買いオーダー、割り込むとストップロス売り、105.10円と105.00円には、本日のNYカットオプションとドル買いオーダーが控えている。

追加景気対策法案の協議は、ペロシ米下院議長が主張する2.2兆ドルとムニューシン米財務長官が主張する1.8兆ドルとの攻防が続いており、21日も協議が続くと報じられている。

トランプ米大統領が民主党の2.2兆ドルに歩み寄る姿勢を示しており、ペロシ米下院議長報道官は、合意に近づいていると述べ、ペロシ米下院議長も妥結後の経済対策法案の起草に着手していると述べていることで、大統領選挙に向けた両者の妥協の可能性が高まりつつあり、関連ヘッドラインに要注目となる。

## 【本日の重要指標】 ※時刻表示は日本時間

## &lt;国内&gt;

○10:30 ◎ 櫻井日銀審議委員、講演

## &lt;海外&gt;

- 15:00 ◎ 9月英消費者物価指数（CPI、予想：前月比0.5%／前年比0.5%）  
◎ CPIコア指数（予想：前年比1.3%）  
◇ 小売物価指数（RPI、予想：前月比0.4%／前年比1.2%）
- 15:00 ◎ 9月英卸売物価指数（PPI、食品とエネルギーを除くコア指数、予想：前年比0.1%）
- 16:30 ◎ ラガルド欧州中央銀行（ECB）総裁、レーン ECB 専務理事兼チーフ・エコノミスト、講演
- 19:00 ◎ デギンドス ECB 副総裁、講演
- 20:00 ◇ MBA 住宅ローン申請指数
- 20:00 ◇ 9月メキシコ失業率（季節調整前、予想：5.3%）
- 21:10 ◎ ラムスデン英中銀（BOE）副総裁、講演
- 21:30 ◎ 8月カナダ小売売上高（予想：前月比1.1%／自動車を除く前月比0.9%）
- 21:30 ◎ 9月カナダCPI（予想：前月比▲0.1%／前年比0.4%）
- 23:00 ◎ メスター米クリーブランド連銀総裁、講演
- 23:30 ◇ EIA 週間在庫統計
- 22日 01:00 ◎ カシュカリ米ミネアポリス連銀総裁、講演
- 22日 01:00 ◎ カプラン米ダラス連銀総裁、講演
- 22日 02:00 ◎ 米財務省、20年債入札
- 22日 03:00 ◎ 米地区連銀経済報告（ページブック）
- 22日 05:45 ◎ ブラード米セントルイス連銀総裁、講演

※「予想」は特に記載のない限り市場予想平均を表す。▲はマイナス。

※重要度、高は☆、中は◎、低◇とする。

※指標などの発表予定・時刻は予告なく変更になる場合がありますので、ご了承ください。

## 【前日までの要人発言】

20日 05:48 マコネル上院院内総務(共和党)  
「米上院は新型コロナウイルス対策法案を今週採決する」

20日 07:27 オア NZ 準備銀行(中央銀行、RBNZ)総裁  
「資産価格のインフレと金融政策の限界を認識」  
「11月に政策手段を更新する」  
「量的緩和プログラムには十分な余地がある」

20日 08:07 ケント RBA 総裁補佐  
「実質インフレ率が持続的に目標範囲に入るまで利上げはないだろう」  
「経済見通しや高い失業率を考慮すると政策支援は当面必要」  
「政策金利をさらに引き下げると一定の余地ある」  
「緩和の詳細については推測できないが、期間長めの債券買い入れが1つの選択肢」  
「理事会、追加緩和のケース検討」

20日 16:27 ザハウイ英民間企業・エネルギー・産業戦略省副大臣  
「欧州連合(EU)が我々を主権国家とみなさないのであれば『合意なし』を選択することになる」

20日 17:26 イングベス・リクスバンク(スウェーデン中銀)総裁  
「インフレが目標の2%に戻るには時間がかかるだろう」  
「インフレは今後数年で適切な水準に戻るべき」

20日 18:35 ブリハ英中銀金融政策委員会(MPC)委員  
「政策スタンスは追加緩和へ向けたリスク」  
「QEは3月時点と比べれば効果が少ない」  
「回復にはかなりの道のりがある」  
「パンデミック中に正確な失業率を評価することが非常に大きな課題」

21日 01:18 クドロー米国家経済会議(NEC)委員長  
「米経済対策巡り本日合意するとは予想しない」

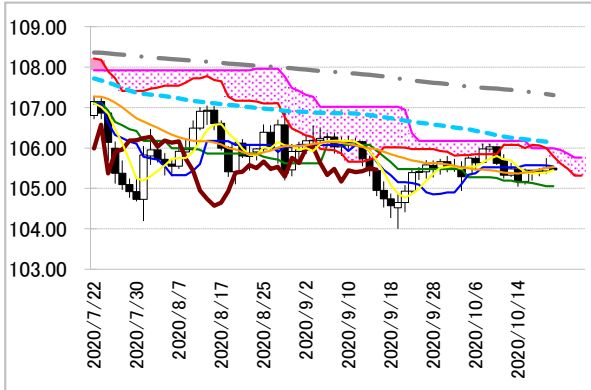
21日 01:41 ペロシ米下院議長(民主党)  
「米追加経済対策巡り、まだ合意していないが楽観している」

21日 02:13 エバンズ米シカゴ連銀総裁  
「景気回復は非常に不安定」  
「来年の回復については幾分楽観的」  
「財政政策が重要な役割を果たす」

21日 05:50 メドウズ米大統領首席補佐官  
「ペロシ米下院議長とムニューシン米財務長官の協議は終了」  
「協議で順調な前進」  
「明日午後に再度協議する」  
「全員が週末まで合意のため努力」  
「明日21日の協議進展を予想」

※時間は日本時間

## 〔日足一目均衡表分析〕

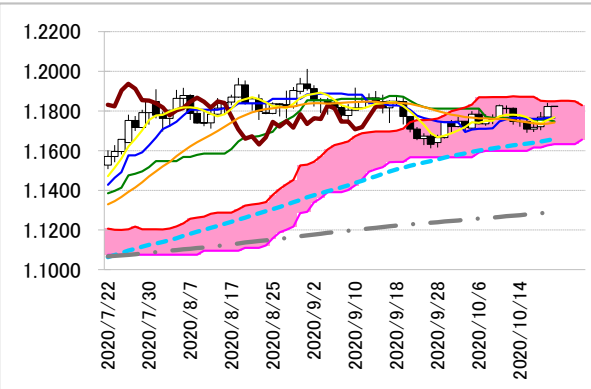


### <ドル円=雲の下限を抵抗に売り戻りスタンス>

陽線引け。一目・転換線は基準線を上回り、遅行スパンは実線を上回っているものの、一目・雲の下、一目・転換線の下で引けていることで、売りシグナルが優勢な展開となっている。2手連続陽線で反発しているものの、転換線を下回って引けていることで、反落の可能性が示唆されている。

本日は、雲の下限を抵抗に売り戻りスタンスで臨み、同線を上抜けた場合は手仕舞い。

レジスタンス1	105.80(日足一目均衡表・雲の下限)
前日終値	105.50
サポート1	104.94(10/2 安値)
サポート2	104.00(9/21 安値)

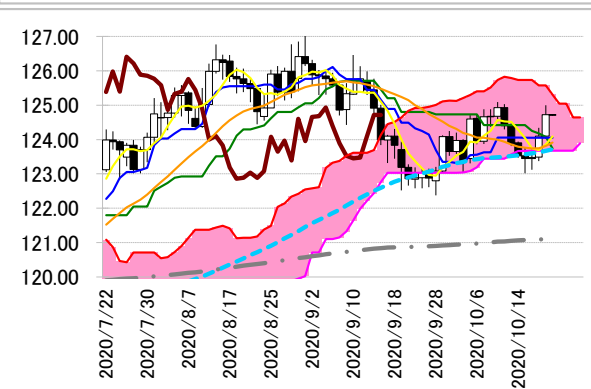


### <ユーロドル=転換線を支持に押し目買いスタンス>

陽線引け。一目・転換線は基準線を上回り、遅行スパンは実線を下回り、一目・雲の中で引けているものの、転換線を上回って引けていることで、買いシグナルが優勢な展開となっている。3手連続陽線で転換線を上回って引けたことで、続伸の可能性が示唆されている。

本日は、転換線を支持に押し目買いスタンスで臨み、同線を下抜けた場合は手仕舞い。

レジスタンス1	1.1900(9/15 高値)
前日終値	1.1822
サポート1	1.1765(日足一目均衡表・転換線)

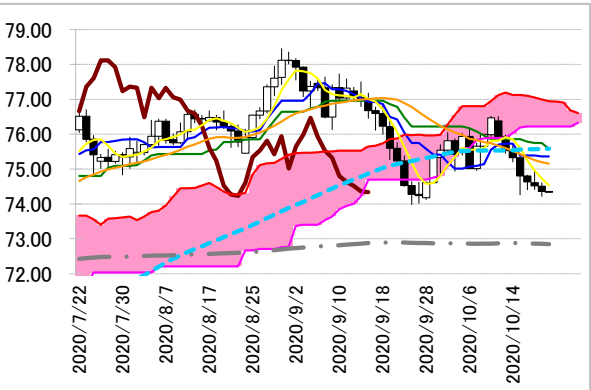


### <ユーロ円=転換線を支持に押し目買いスタンス>

陽線引け。一目・転換線は基準線を上回り、遅行スパンは実線を下回り、一目・雲の中で引けているものの、転換線を上回って引けていることで、買いシグナルが優勢な展開となっている。3手連続陽線、転換線を上回って引けていることで、続伸の可能性が示唆されている。

本日は、転換線を支持に押し目買いスタンスで臨み、同線を下抜けた場合は手仕舞い。

レジスタンス1	125.31(日足一目均衡表・雲の上限)
前日終値	124.72
サポート1	124.06(日足一目均衡表・転換線)



### <豪ドル円=転換線を抵抗に売り戻りスタンス>

陰線引け。一目・転換線は基準線を下回り、遅行スパンは実線を下回り、一目・雲の下で引けていることで、三役逆転の強い売りシグナルが点灯中。7手連続陰線で転換線を下回って引けていることで、続落の可能性が示唆されている。

本日は、転換線を抵抗に売り戻りスタンスで臨み、同線を上抜けた場合は手仕舞い。

レジスタンス1	75.36(日足一目均衡表・転換線)
前日終値	74.36
サポート1	73.31(6/26 安値)

